

1. 科目名 (単位数)	情報倫理 (2 単位)	3. 科目番号	EDIT2305
2. 授業担当教員	森 正人		
4. 授業形態	講義および演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	本科目では、情報機器およびインターネットを活用するときの基本的倫理を学習する。また、情報社会における多様な情報倫理に関する諸問題を把握するとともに、その理論的根拠について考察する。具体的には、知的所有権、プライバシー、ネチケット、セキュリティなどの情報倫理について解説し、適切な行動様式を体得することを目標とする。		
8. 学習目標	情報技術を利用する上での安全性やモラル等の諸問題に関して、技術的側面のみでなく、倫理や社会的側面にも焦点を当てて論じることができるようになる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポ ート課題	直近に起きた情報関連の問題に関して調査した結果をレポートとして提出を求める。		
10. 教科書・参考書・ 教材	【教科書】 山住富也『モバイルネットワーク時代の情報倫理 加害者被害者にならないためのメディアリテラシー』近代科学社。		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 1. 情報技術を利用する上での安全性やモラル等の諸問題に関して、技術的側面を説明できるか。 2. 情報技術を利用する上での安全性やモラル等の諸問題に関して、倫理や社会的側面を説明できるか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 1. 平常点(授業への積極的な参加・小テスト・レポート等) 50% 2. 最終考課(テストもしくは最終課題) 50%		
12. 受講生への メッセージ	情報技術を考えるとき、その技術的側面に目を奪われがちですが、これでは問題の本質を見誤ります。倫理や法律なども含めて総合的に考える事ができるように頑張りましょう。		
13. オフィスアワー	別途連絡する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	情報科社会とは何か	事前学習	教科書第1章を読んでおく
		事後学習	教科書第1章末問題
第2回	「倫理」と「情報倫理」	事前学習	配布資料を読んでおく
		事後学習	配布資料の演習問題
第3回	コンピュータネットワークと犯罪1 (不正アクセスや情報漏えい)	事前学習	教科書 pp. 25～35 を読んでおく
		事後学習	教科書第2章末問題 2.1～2.3
第4回	コンピュータネットワークと犯罪2 (ネット詐欺等)	事前学習	教科書 pp. 36～47 を読んでおく
		事後学習	教科書第2章末問題 2.4
第5回	コンピュータネットワークと犯罪3 (ネットコミュニケーション上のハザード)	事前学習	教科書 pp. 47～59 を読んでおく
		事後学習	教科書第2章末問題 2.5～2.6
第6回	マルウェアに関する基礎知識1 (ウィルス、ワーム等)	事前学習	教科書 pp. 61～70 を読んでおく
		事後学習	教科書第3章末問題 3.1～3.3
第7回	マルウェアに関する基礎知識2 (スパイウェア、アドウェア等)	事前学習	教科書 pp. 71～85 を読んでおく
		事後学習	教科書第3章末問題 3.4～3.6
第8回	情報セキュリティ1 (基本概念と心構え)	事前学習	教科書 pp. 87～105 を読んでおく
		事後学習	教科書第4章末問題 4.1～4.3
第9回	情報セキュリティ2 (セキュリティの技術的側面)	事前学習	教科書 pp. 106～115 を読んでおく
		事後学習	教科書第4章末問題 4.4～4.5
第10回	情報セキュリティ3 (セキュリティポリシー)	事前学習	教科書 pp. 116～118 を読んでおく
		事後学習	教科書第4章末問題 4.6
第11回	情報技術と法令 (基本的な考え方、倫理と法の関係)	事前学習	配布資料を読んでおく
		事後学習	「違法行為」と「モラルハザード」について考察し、まとめる
第12回	ネットワークに関する法規制	事前学習	教科書 pp. 121～164 を読んでおく
		事後学習	最近のネット上の違法行為を調べる
第13回	情報技術と知的財産権	事前学習	配布資料を読んでおく
		事後学習	提示された侵害事例についてまとめる
第14回	ネットワークトラブルの実例 (1)	事前学習	12～13 回で調べたものを提示できるように準備する
		事後学習	実際の案件に関して調査する
第15回	ネットワークトラブルの実例 (2)	事前学習	調査を継続する
		事後学習	調査結果をまとめてレポート提出する
期末試験			